

平成 27 年度事業報告

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

金谷美術館が開館してから 7 年目を迎えた。「石と芸術の町」をテーマに地域行事やイベントの開催、遊休資産の活用、そして多くのボランティアの協力により地域全体を視野に入れた活動を行って来た。

一昨年前より上野の森美術館の協力により美術館運営の基本について指導を頂く事ができた。いろいろな指導を仰ぎながら運営を行う中、徐々にではあるが実績は上がってきており少しずつであるが金谷美術館の知名度は高まって来きている。上野の森美術館のサポートは平成 28 年 3 月末をもち一旦一区切りとして今後は培った運営ノウハウと人的ネットワークで展観事業を含め独自の運営路線を進めていく。

引き続き元彫刻の森美術館館長でシニアアドバンザーの鈴木隆敏氏による運営指導により展開事業を推進して来た。またワークショップの実施や他美術館の展示会や歌舞伎、東京駅等の見学ツアーも実施した。

昨年 9 月にはスウェーデン芸術家 6 名を金谷に招聘し約 2 週間滞在、金谷美術館内だけでなく町内でインスタレーションの制作を行い、外国人アーティストを初めて招聘するアーティストインレジデンス事業を行った。10 月には第 3 回目となるバリ金谷インターナショナルアートウィークを実施しバリ島より小学生 27 名、先生 9 名、引率関係者を合わせ総勢 40 名の国際交流団を招き美術館が中心になり国際交流を行った。石の文化、芸術性の歴史など金谷地区とバリ島とは関連する部分が多く、今回の交流を通じお互いの芸術交流により新たな芸術的価値の創造を図り、今後の交流の拠点として金谷の地域活性にも寄与すると期待する。国際交流やアーティストインレジデンス事業は富津市総合戦略の観光振興（インバウンド招致）や移住促進とも関係し今後地域活性を行政の支援を受けながら進めていく上でよいきっかけとなる。

また地域の貴重な観光資源である鋸山の登山道修復のため、ちばの WA 地域づくり基金や JR 東日本関連の東日本鉄道文化財団の資金的な支援により登山道修復、案内版 4 基設置を行った。産業遺産としての価値が見直されてきた鋸山の遺構が地域の観光振興にも大きく寄与している。

また平成 20 年から開始している「金谷石のまちシンポジウム」は平成 27 年 11 月に第 7 回を数えるまでになった。石の研究者の協力により続けて来たこの事業により鋸山の産業遺産としての歴史的価値が高い評価を得る事ができて来た。鋸山を訪れる観光客は着実に増えている。視察や講演の依頼も増えて来ており、鋸山や地域に対する興味が高まり実績としての数字も上がってきている。

地域との連携では金谷小学校児童の絵画の展示を毎回ロビーで行い、また富津市内のコンクール優秀作品（防災ポスターコンクールなど）を館内に展示し、美術館を通じた地域の子ども達への教育へも貢献して行きたい。

当公益財団法人の事業は、公益財団法人に相応しい目的に沿った公益目的事業を、積極的に展開しているが、これらの事業は入館収入や独自の財政力では無理があり、多くの法人、団体、個人の支援なくしては難しい。平成27年度において募金活動を積極的に推進してきた結果、寄付金・募金・協賛金収入の総計は12,142千円であった。昨年度よりは大幅な落ち込みとなったが引き続き金谷美術館の使命と意義を多くの方に理解して頂き支援を仰ぎながら安定的に運営を行っていきけるよう努力する。

公益における事業の概況

金谷美術館は、地域の町おこしの中できた美術館である。地域資源の鋸山では石切りの歴史文化があり風光明媚な景色と恵まれながらも、過疎化、少子高齢化等、問題を打開するため、数多くのボランティアの支援と協力を得ながら、地域活性化の核としてこの美術館を運営して行く。優れた芸術作品を古来より多くの芸術家に愛されたこの地で展示することは地域の芸術文化啓蒙活動に寄与する事はもちろん、外部より訪れてくれた方に癒しと知的満足感を与える。本事業を通じ地域の魅力を高め地域活性化に貢献していく。

平成27年度の公益財団事業の実施状況

1 平成27年度公益財団の展示事業と金谷美術館入館者数

平成27年度中の金谷美術館の展示事業は、別表1-2のとおりである。入館者数は5,909人と、前年度に比較して約1,900名増加した。これは南総里見八犬伝展など地域に所縁のある企画展を積極的に行ってきた成果である。しかしながら同時に魅力ある展観事業を行うにはそれ相応の経費がかかる。経費を賄うだけの収入が確保できず運営的には厳しい状況である。この後は経費管理を徹底していきながら内容の充実をいかに図るか、展観事業はこれを見極めながら行っていかなければならない。地方創生の流れの中、地域各団体や行政との連携を図り、マスコミ等の広報にも更に力を入れ入館者増進に努めて行く。

2 展覧事業以外の美術館主催の事業

金谷美術館は、地域振興関連行事を美術館が主催者となって、目的事業である次の行事を開催している。

(1) 人材育成事業 (定款第4条第2号)

- フラメンコショー
- 文化講座「文楽を見に行こう」
- 講演講座「アートで見る南総里見八犬伝」
- ダンスと演舞で楽しむ八犬伝
- 講談「芳流閣の決闘」
- 講演会「八犬伝と房総ゆかりの地」
- 講演会「八犬伝-妖の魅力と浮世絵」
- ワークショップ「ミニ銭湯画を描こう」
- 東京駅&東京駅ステーションギャラリー見学講座
- ピッピの絵本読み聞かせ&フィーカ
- カジヒデキトーク&ライブ「ぼくのスウェーデンライフ」
- 松本玲子ミュージアムコンサート「ミュージアムジーク」
- 金谷美術館コンクール2015表彰式
- 「新春歌舞伎講演」特別鑑賞&講座
- ワークショップ「押し花アートに挑戦しよう」
- 金谷美術館コンクール2015作品講評会
- 国際交流事業 (バリ金谷インターナショナルアートウイーク)

運営組織の開催状況

平成27年度

第1回理事会、評議員会の開催

(1) 日時 平成27年6月24日(水)

出席評議員(4名)出席理事(5名)

議案①平成26年度事業報告

②平成26年度決算報告

③理事改選

④その他

第2回理事会、評議員会の開催

(1) 日時：平成28年1月13日(水)

出席評議員(4名) 出席理事(5名)

議案①平成27年度事業報告

②その他

第3回理事会、評議員会の開催

(1) 日時：平成28年3月25日(金)

出席評議員(3名) 出席理事(5名)

議案①平成28年度事業計画(案)

②平成28年度収支予算(案)

③その他